

センター通信

平成19年度・夏

社会福祉法人
青少年福祉センター
郵便番号 123-0873
東京都足立区扇1-12-20
TEL (03) 3856-2728
FAX (03) 5939-7880

青少年福祉センター五十周年に向けて

理事長 兎玉 惟継

後援者の皆様、協力者の皆様、いつも青少年福祉センターに暖かいお気持ちを注いで下さいまして、ありがとうございます。役員一同、心から御礼申し上げます。

皆様の篤いお気持ちに支えられ、明年、当青少年福祉センターは五十周年を迎えます。一九五八（昭和三三）年八月一日、長谷場夏雄（現専務理事、研究室長）が、現在の新宿寮にほど近い豊島区椎名町で事業を開始してから、明年でちょうど五十年になります。

義務教育修了後、施設を出なければならぬ、寄る辺のない男子少年のための「憩いの家」新宿寮から始まった青少年福祉センターの事業も、女子の清周寮を加え、一九七〇年から足立区扇で職業訓練事業を開始するとともに、一九八一年からは職業訓練校の寄宿寮を児童養護施設暁星学園として運営しております。自立援助ホームも新宿寮、清周寮に加えて、二〇〇五年に3つ目となるおうぎ寮を開設し、二〇〇六年からは中高生向けの二つめの児童養護施設あけの星学園をスタートさせています。

今年二〇〇七年には、心に病をかかえる女子の共同生活の場として運営してきたグループホーム「ノエル」が東京都から障害者自立支援法の事業者指定を受け、念願だった補助金を頂戴することができるようになりました。

厳しい経営環境の中で、五十年の間幾多の困難を乗り越えて事業を継続してこれたのは、後援者、官公庁の御協力、御指導とともに、額に汗することをいとわず、たゆまぬ研鑽を忘れない職員の労苦の賜物でもあります。職員の献身なくして五十年はなかつたと思っています。

一方、当法人の自立援助ホーム、児童養護施設が、子どもたちにとってほんとうに安心でき、くつろげる暮らしの場となっているのかどうか、子どもたちを支え、自立を支援するために、私どもがどこまでお役に立てているのか。子どもの声に真摯に耳を傾け、東京都福祉保健局から御指導いただきながら、後援者の皆様、地域の皆様、第三者評価委員会の皆様などから幅広くご意見を頂くとともに職員一人ひとりが日々の仕事の合間に、いつも己に問うことを心掛けるようにしていますが、反省することが少なくありません。

この点で、今年四月から新宿寮一階で事業を開始した児童養護の当事者参加推進組織「日向ぼっこ」の活動は、私どもに多くの示唆を与えてくれると考えています。児童養護施設等を退園して社会に出ても、家族・親族の支えを得られないまま孤立しがちな方々が、

共に集い、助け合うためのネットワーク活動です。昨年度、SBI子ども希望財団様の御厚意で資金援助を頂くことができたので新宿寮一階の倉庫（元の印刷工場）を改装し、「日向ぼっこ」の皆さんに「日向ぼっこサロン」の会場として使っていただいています。

「日向ぼっこ」の活動は彼らの自助活動ですが、同時に自立援助ホーム、児童養護施設などの提供しているサービスを検証するモニタリングとしての役割、ホーム、施設で暮らしている子どもたちの意見を代弁する代弁者の役割も果たします。

「日向ぼっこ」の皆さんと率直に話し合い、ご意見を謙虚に受け止めながら当法人のホーム、施設を運営していきたいと考えています。

この点から、五十周年を機に法人として「日向ぼっこ」の活動を全面的に支援していくこととしました。五十年の間に二千名以上のお子さんを社会に送り出しましたが、職員も齢をとり、建物も老朽化しました。築後四十三年を経過した新宿寮、三十三年の清周寮の建て替えは喫緊の課題です。財団法人の清算も早急に決着させなければなりません。役員一丸となって、一つひとつの課題に取り組みで参りたいと存じます。どうぞ引き続き、青少年福祉センターにご理解、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

お詫びと訂正

平成18年度・冬号でお知らせした御寄付お振込先に誤りがありました。お詫び申し上げます。振り込み先は郵便局のみです。

郵便振替

00170-4-96636

社会福祉法人 青少年福祉センター

法人内ニュース

青少年福祉センターは、五十年近く長谷場夏雄の「帰るところのない子に家を」という精神の下、青少年の自立を支援しております。

現在、百名を超える利用者、五十名を超える職員、数多くのボランティアの方々によって、二つの児童養護施設、三つの自立援助ホーム、グループホームノエルという六つの事業所を運営するに至っております。

事業所を拡大したことに伴い、多くの新しい職員が青少年福祉センターに採用されました。その職員たちには長谷場の理念・精神を理解してもらい、利用者への接遇の中でそれを生かせるようになってもらわなければなりません。そのため、昨年度からセンターの各事業所の職員が月一度勉強会を行って、長谷場が書いたものや講演したものを整理しています。

幾つかのキーワードを選び出し、その言葉について改めて長谷場からインタビューをすることも予定しています。

青少年福祉センター五十周年を記念して、それらをまとめた一冊の本を発行し、新しく職員になった人達に伝えていければと思います。

青少年福祉センターは、理事長のいう新たな五十周年に向けて更なる改革を目指して運営されなければなりません。

今後、皆様の変わらぬご支援をいただけますようお願い申し上げます。



バザーを終えて

バザー担当理事 荒船日子

六月九日、十日と週末を利用して数年ぶりに暁星学園の敷地内でバザーを催しました。残念ながら二日目は土砂降りの雨にたたられ、正味二時間ほどの開催となつてしまいました。したが、当初の目標額を達成することができ、ホッとしています。

ボランティアの方々毎週のようにセンターにいらして下さり、頂いた寄贈品を仕分けしたり、値段を付けたりしながら笑ったり、おしゃべりを楽しんだり、手と口と頭とが忙しい一日を過ごし乍ら準備に半年ほどかかりました。

この方達のご助力が無かつたら今回のバザーは成り立たなかつたと感謝しています。

又、職員も忙しい仕事の合間をぬってチラシを作成したり、当日の配置、食材の準備等色々と働いてくれました。

そして迎えた当日、お天気には恵まれませんでした。ボランティアの方々職員が組んで、お客様と値段の交渉に応じたり、時間があればおしゃべりをしたり、お互いを知る時間も持てて、大変でしたが楽しい二日間でした。

又、子供達も手伝ってくれて、その嬉しそうな顔も印象的でした。久しぶりとあつて私自身は勿論、職員の中にも初めて参加した人も多く戸惑った点多々ありましたが、終わった後の達成感、疲れたとはいえ、嬉しい疲労感もありました。

これからも職員、ボランティアは勿論、子供達も一緒になつてお互いに助け合いつつ、大きな目標に向かって進んでいきたいと思えた今回のバザーでした。皆様のご協力に改めて感謝し、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

自立援助ホーム 新宿寮(新宿区)

みなさん、こんにちは、いつも元気な新宿寮です。

平均年齢十七歳、容姿端麗、スタイル抜群、青春ど真ん中の十六名が、男臭さをむんむんさせて乗りに乗っております。

今年のゴールデンウィークはお天気に恵まれ、日頃の行いが良いのか、雨にたたられることもなく、恒例のゴールデンウィーク行事をつつがなく楽しむことが出来ました。

四月二十九日は東北自動車道を栃木まで足を延ばして、鱒つり大会。

三日は味の素スタジアムにサッカー観戦。四日は中央自動車道をひた走り、富士急ハイランドへ。六日は池袋のボーリング場でボーリング大会と盛り沢山でした。



普段の休みは仕事にくたびれ果てて、ごろごろしていることが多いみんなも、はりきって早起きして参加しました。飲食店に勤めているお友達の中には、どうしても休みがもらえなくて、泣く泣く仕事に行った人もいました。だいたい前から「ゴールデンウィークだけは休ませて下さい、日曜日出るから。」と言って交渉していた人も多くいました。

上の写真は、五月四日の富士急ハイランドの帰り道、温泉に寄った時のもの。実は、富士急ハイランドはさんざんだったんです。朝の弱い僕たちですが、頑張つて早起きして、まだ薄暗いうちに新宿寮を出たのですが、案の定、中央高速は大渋滞。談合坂まで来るとのろのろ、のろのろ、ほとんど前に進みません。くたびれ果てて、ようやく富士急ハイランドにたどり着きましたが、既に大半の乗り物の前は長蛇の列です。四時間待ちをものともせず、根性で並んだものの、二時間後に「点検のため本日の運行は中止します。」という信じられないアナウンスに涙しました。結局、富士急ハイランドでは参加者の誰一人、乗り物に乗ることが出来ず、列に並ぶために出かけたようなものでした。

でもね、僕たち、連休には富士急ハイランドに行ったんだよっていえるし、楽しかったよ、帰りに寄った温泉も気持ちよかったですし、高速はちっとも動かなかったけど、車内でやったしりとりも楽しかったし、い

い連休だったよ。そう言ってくれたK君の優しさについてほろりとしたのは僕だけでしょか。ところで連休明けの五月十八日、新宿寮で大変なことが起きてしまいました。

五階の居室の窓ガラスが窓枠ごと地上に落下してしまつたのです。既に建築後四十三年経過している古い建物ですが、安全性にだけは気を配り、日頃の補修は怠らなかつたのですが、年月の経過には逆らえず、遂に恐れていたことが起きてしまいました。寮生にも通行人にも怪我一つなかつたことが不幸中の幸い、唯一の慰めです。写真は当日朝のもので、他の窓ガラスも落下のおそれがあるというので、早速翌日、応急防護工事を行いました。足場を組んで、ビル全面をネットで覆いました。とりあえずの危険は防げるようになりましたが、早急に抜本的な対策を施さないとなりません。頭が痛いです。



障がい者 グループホーム ノエル(足立区)

おかげさまでもちまして、ノエルは今年度から法人に組み入れられました。足立区から補助金があることになりました。当初は正式なメンバーさんは3人だけかと思っていたら、もっと増えることになりそうです。ノエルは二戸建の建物とアパート型との二タイプですが、一戸建の方を利用なさっているNさん。三十代でゆるやかに人生の終わりが来るのを待ち望んでいるかに見える暮らしぶり、殆んど何も買わず何も望まず引きこもっていましたが、最近よく出かけてよく買い物にも出かけるようになりました。お気に入りのヨーグルトは買いだめせず毎日スーパーへ歩いて買いに行っています。



ノエルのメンバーさんたちはほぼ全員、思春期の問題を抱えたまま成人しています。そのため衝動的・感情的振る舞いや言動、時には自分を重症に見せようとしてウソをつくこともあります。

ぶつかったとき、こちらもよい気分ではありませんが、時間が経つとそれが笑いあり涙ありのほろ苦い思い出に変わっていきます。今年はどうなるかあるのでしょうか。この健康フェスティバルにパネルを出品しました。和紙にこだわって作ってみました。

ノエル誕生という意味がもともとの意味なのですが、トナカイをノエルとよぶこともあるのでそれをモチーフにして作ってみました。ノエルという言葉は他にロールケーキやおなじみのブッシュドノエル、もあります。ノエルのタイトルを使った事業所は他に不動産屋、精肉店、美容外科、出会い系サイトなんでもありました。



出品したパネル

自立援助ホーム おうぎ寮(足立区)

『このコート、お前にやるよ。』冬の終わりのある日、十七歳になつたばかりの寮生が入所したての十六歳に言いました。



そのコートは十七歳の子が去年まで身に付けていたもので、サイズが合わなくなったわけでは無いといひます。

試しに着てもらおうと確かに違和感がある、どうも変です。昨年はとても似合っていたのに。体だけでなく心の中も子供は変わる可能性を持つていることを日々感じさせられます。

コートあげた十七歳はおうぎ寮に来た当初、自分でも状況を把握できないまま気がついたときには働いていました。働かされているという否定的な感情をひきずりながらそれを行動で表現、アピールしていたために警察沙汰になることもありましたが、周囲の大人たちがその子の間違え失敗する権利を認め、心の中で押し殺しあきらめていた希望に息を吹きかけると、少しはわかつてもらえる”と思つたのか徐々に感情を言葉で表現するようになりました。

また押し殺されていた希望をかええるためには何が必要かを子供との共同作業で考えた結果、高認(旧大検)を受けてみよう、そのためには問題集を買う金、大学の入学金、プチ不良(本人の言葉)だった頃にかさんでしまった借金の返済のために働くなどのプロセスが出来上がりました。結果、現在に目を向けられるようになり優先順位として働くことに意義が見いだせるようになりました。また、異動してきた職員の新しい風にも影響され、きつく汚い仕事にも精を出せるようになり現在に至っています。

少し前に十八歳になったばかりの子はよく壁や物にぶつかり自転車も四台パンクさせています。スーパリーの仕事でも、やる気あんのか、と怒られたと言うので本人に仕事の様子をきいてみるとどうも本人の態度の問題ではないようなのでメガネをかけたところその日、マネージャーにほめられた、と顔を輝かせて報告してきました。認められたことでさらにやる気が出たようで、仕事の楽しさがわかった、と語っていました。それでも壁や物に激突するのはなおりません。じつとしていられないからです。

本人にはその個性を生かした仕事の仕方を勧めています。その動きすぎる仕事ぶりに熱心さが加わり、彼の天真爛漫さが気に入られて良い評価を受けていました。残念ながらスーパリーは辞めることになりましたが、その時にも熱心に慰留されるほどでした。今ではスーパリーのキャリアがベースになり最近始めたコンビニの仕事では研修が他の人よりも短期間で済んでいるようです。

会社員十九歳のプチレディは独立まであとほんのわずか。男所帯の中に来なければならなかったために、少女の細い声がかき消されたりしないよう細心の注意をはらい、受け入れる覚悟をして迎えました。一緒に暮らしてみるとなかなか気が強くてガンコでした。

小鳥みたによくしゃべりよく相談に来ましたが、素直に従うというよりは自分の中にある答えを探り出すために鏡の存在として職員を使つていたようです。それゆえ指導員は彼女に対して透明であることが必要でした。

彼女から教わったことは、たとえ子供に対し心配ごとがあつても大人はそれを子供に代わって解決できないことを知らなければならぬ、子供の代わりに心配することはできない、子供に対してむやみに修正するのではなくサポートすること、そして起きた結果を大人が何とかできるものだ、という思いがりを捨てて自分が相手をコントロールすることはできないと自分の力のなさを認め、子供の人生を認めることを知ることでした。

子供が行ってきます、と出て行く朝の陽光の中で、子供たちが出勤する時の後ろ姿にハッとさせられることがあります。

それは子どもが仕事の中に何かを見出した時や、その子の中で何かがつつ切れた時なのかもしれません。

ときに子供が手を振って出て行くとき私たちは、子供たちがこんなにかっこいいときを独り占めして目の当たりにできる幸福をかみしめ、感謝の気持ちでいっぱいになります。



自立援助ホーム 清周寮 (足立区)

始めに――

清周寮は少女たちがこれから長い人生を生きぬくための「強い心」や社会のいろいろな仕組みを学んでくれることを願っています。入所すぐは、寮のルールが厳しいと思ひこんで大いに不満ですが、時が経つにつれて「なぜ、ルールがあるのか?」「なぜそんなに厳しいか?」少しずつは理解してくるようになります。実際に社会に出てから「あのとき、注意されて良かったな」と心の片隅でももつてくれれば・・・と思います。また、彼女たちの毎日は仕事です。その仕事から帰ってきて、心からホッとできる・・・そんな空間作りをめざしています。

就労戦線近況

景気の回復を反映してか、寮生の就職状況は少し改善。労働条件や賃金等はあまり変わりませんが、以前は探してもなかった十五・六才の求人が増え、若い彼らにとつては朗報です。求人増加で職種選択の幅も広がり、「より自分に適した職」を探すためにも都合です。幼いながら、いろいろな仕事を知り、経験し、最終的に自分にあつた仕事を見つけ、自分と気の合う友人を見つけ、社会での生活を実感し、日々遅くなってゆく子供たちの後ろ姿に日々の成長を感じています。



定時制に通う寮生の急増

清周寮では働きながら定時制高校に通う子が増えています。でも寮生にとってはあくまで仕事為主で、それから学校へ。そうでないと親や国からではなく、自分の労働の賃金で寮費、学校の費用、全てを賄えないのです。又学校に通うには仕事の時間も制限される。そうしたハンディを背負いながら毎日を頑張っている子たちに、職員も頭の下がる想いです。

夢にむかい、高卒認定試験にチャレンジ!

寮生の殆どは中卒ですが、その中の一人が「高卒認定試験」にチャレンジ。昨年初めての挑戦にもかかわらず英・数・国の三科目に合格しました。今年に残りの五科目。超ハードな毎日の仕事と平行しながら猛勉強中。それに触発されたか、「私もチャレンジしたい」と言ってくる子もいます。頑張れ!

卒寮生の出産

一年前に卒業したFちゃん、結婚して、五月に元気な男の赤ちゃんが生まれました。退院した次の日に赤ちゃんを連れてきたのでびびり。元氣そうなので、ホットSさんから電話「無事男の子が産まれました!」寮生の最近の傾向として、できるだけ長く寮にいて仕事を続け、しつかりお金を貯め、寮の近くにアパートを借り、自立後余裕のある生活をしたということ。当然、最初は不安な一人暮らし、近くに住んで、なにかあつたらすぐ寮に来て相談できる距離が安心するのでしょうか。そんな着実な道を今の寮生は学んでいるようです。職員の立場からも、目の見えるところで生活し、密な連絡をとれるということは、とっても安心です。



才能を発見!

寮生たちは、みんな絵を描くのが好きです。その中でもTちゃんは本当に絵を書く事が好きでとても上手なので、その絵をご紹介します。何とか勉強してその才能を活かせれば・・・などと考えています。



行事から学ぶこと

虐待や養育放棄などから大きな心の傷を受け、それがこだわりとなっている子たちが多いので、いろいろなイベントを用意することは、彼女たちの「心の癒し」がまずねらいです。ある卒寮生はこんな事を漏らしました。「清周寮で良かったのはいろんな所に連れていってくれ、楽しい思い出がいつばいできたこと・・・よく映画に連れて行くのも、見識や視野を少しでも広げ、自分のことを冷静に見直してもらいたいからで、それなりの何かはあるようです。」



最後に――

清周寮は新年度を迎え、寮長が交代しました。新しい寮長には大屋桂子が就任し、今まで寮長であった長谷場夏雄は専務理事兼統括寮長になりました。新しい体制となりましたが、今後ともよろしく願います。

暁星学園からは、ゴールデンウィークの様子をお伝えします。例年GWは、本園は本園全体で旅行に行っていたのですが、今年度は趣向を変えて、二階から四階までのフロアごとに別々に出かけることにしてみました。大人数の旅行もそれなりの楽しさがあるのですが、どうしても宿泊先の確保が難しく、スケジュールも単調になりがちでした。今回は十人程度のグループでの行動となったので、子ども達の希望も取り入れながら旅行を楽しむことができましたと思います。

◆二階・三階

先陣をきって、三階が四月二十七日から二十九日まで、二階が五月二日から四日まで大阪旅行に行ってきました。目的地はユニバーサルスタジオジャパン(USJ)です。予算の関係で行きは深夜バスで移動し、到着後は朝から一日かけてUSJで遊びました。次の日は、心齋橋方面で大阪観光をして、たこ焼きなどを食べ歩き、大阪を満喫して帰ってきました。



◆四階

四階はアルバイトをしている児童も多く、スケジュールや希望をあわせるのが大変でした。それでもなんとか四月二十九日に全員そろって、日帰りで都心に繰り出しました。六本木にオープンした話題の「東京ミッドタウン」を散策し昼食をとった後、池袋で映画を観て、ホテルニューオータニでディナーbuffetを楽しみました。ミッドタウンではとまどいがちだった子ども達も、豪華なディナーは大満足だった様子でした。



◆グループホーム

ほきまホームとうめだホームの女の子は合同で五月六日から一泊で横浜に出掛けました。八景島シーパラダイスで遊んだ後、インターコンチネンタルホテルに宿泊し、美味しいディナーをいただきました。普段なかなか入れない上品な場所でしたが、みんなマナー良く食事を楽しむことができましたようです。二日目はあいにくの天気でしたが、コスモワールドで乗り物に乗った後、中華街を散策してきました。



開所から一年

中井児童学園より「あけの星学園」としてスタートして一年が経過しました。後援者の方々、法人を挙げての支援もあり職員一同、頑張ることが出来ました。

開所当初は、職員が少なく(もつとも利用者も少なかつたのですが)ただ目先の仕事に追われる毎日でした。過ぎてしまえば、辛くもあり、楽しく、やりがいもあつたと感じます。無から何かを生み作る作業は、ただがむしゃらに前に突き進むことである事が実感として残っています。

今では、利用者もほぼ満員となりスタッフも多くなりました。各職員迷いや不安がありつつも、利用者の為、日々研鑽を積んでおります。

あけの星学園の事業に対する結果はまだ出ておりません。今後も行き場のない子ども達のため、誠心誠意尽くす所存でありますので、皆様からの支援の程よろしくお願い申し上げます。

十九年度行事予定

四月	ルミネ・ザ・吉本「お笑いライブ」
五月	GW清里旅行
六月	群馬県水上ラフティング(後援者主催)
七月	海水浴行事
八月	キャンプ
九月	相撲観戦またはフルーツ狩り
十月	日光紅葉狩り
十一月	東京見物♪
十二月	動物園または水族館
一月	スキー旅行または映画鑑賞
二月	カラオケ行事
三月	東京デイズ二ノリゾート

行事&G・W旅行報告

今年度に入り、四月にルミネ・ザ・吉本、カラオケ&ボーリング、五月のG・Wには清里に行つて来ました♪清里ではトレッキングやガラス工房でのコップ作り体験に挑戦☆どこかに行く機会すら少なかつた子ども達も多く、行事を計画しても拒否反応を示したり、集団で行動するのが苦手だったりすることがありますが、いざ参加してみると笑顔で過ごしていることも少なくありません。今後も子ども達の意見を取り入れながら、有意義な行事を計画していけたら...と思案中。



【G・W旅行】
とっても良いお天気に
恵まれました。
気持ち良いです♪



ボーリング&カラオケ行事。
5ゲームもやるとさすがに腕が...笑



ちょっと早い
花火☆☆☆



焼肉食べ放題♪
食べますっ!

地域の方々と共に

① 落合第一地区青少年育成委員会主催スキー参加
会津高原 だいくら山スキー場へ三月
二十四日〜二十六日で希望した園生三
名+付き添い職員一名で参加しました
♪今年もお祭りを始め、地域での行事、
お手伝いなど子ども達と共に参加して
いこうと思っています。

② 苦情解決委員

あけの星学園には子ども達からの生の
声を聞いて頂いている三名の苦情解決
委員の方がいます。委員の一人は地
域の方にやっていただいています。毎
月開かれる園生ミーティングには必ず
出席して下さり、苦情箱の開封・子ど
も達との一対一の面談などしてもらっ
ています。子ども達からの声を聞いて
もらい、職員にフィードバックしても
らう中で職員も日々の支援の振り返り
をする貴重な機会となっています。

ボランティアの協力を得て

あけの星学園には現在、アロマセラピス
トの方に月に四回、学習ボランティアにB
S&体育大学の学生が来てくれています。
中間・期末試験だけでなく中学生は日々
の宿題も見てもらっています。また、関わ
りは勉強だけでなく、一緒に夕食を取るな
ども。話を聞いてもらいたい、話がした
い子ども達にとって一人でも多くの人が関
わる機会を得ていることはとても有り難い
と感じる日々。これからも、キャンプや土
・日のレクリエーションなど一緒に参加して
もらえる機会を多く持ちたいと思います♪

平成十八年度寄付者一覧(個人) 順不同 敬称略

三原 英明	濱田 華子	津隈 龍彦	新富 康央	木田 郁子	大嶋 恭二	青木 美津江
宮澤 玲子	肥後 盛徳	寺島 要助	杉原 正治	北原 洋子	太田 研子	秋永 英里香
宮地 正晔	日高 和子	アレウゼ ビエール	鈴木 敬之甫	北本 功	太田 千鶴子	芦田 百合子
三輪 佛三	日比谷 幸子	天満 美智子	鈴木 眞弓	木根淵 敬子	大塚 節子	瀧美 伊都子
武藤 隆二	藤木 康男	外山 慶子	鈴木 美恵子	榎木 彩子	大野 純子	阿部 美鶴
村井 幸子	古谷 恵美子	中川 学	関口 安生	久保 ナツ恵	大野 光子	阿部 弘
村田 富子	前波 真一	中川 李枝子	齋部 和子	久保田 功	大橋 久三郎	天田 松代
毛利 恵子	横 育子	永田 元子	高木 宏友	小泉 清子	大元 靖子	天野 あゆ子
元田 邦子	松浦 経子	中西 一晃	高嶋 悦子	小糸 順子	岡田 豊子	綱島 敬子
桃原 哲也	松平 典子	仲野 道雄	高田 やよひ	高島 民子	岡本 孝子	安齋 和恭
森 政弘	松永 圭司	中山 良子	高橋 黎子	小塩 米子	岡本 多計彦	飯島 和夫
安間 百合子	松行 秀二	西山 州見子	高橋 照美	小島 淳一	小川 展子	石川 美枝子
矢田 昭久	三神 敬子	新田 宏行	高橋 博子	後藤 京	奥田 晃代	石黒 伸
山中 光子	三上 寿子	根本 美知子	高島 克彦	小西 正子	奥田 光江	石原 亀代子
山脇 百合子	水田 泰子	野口 克己	高原 道雄	近藤 隆志	小倉 和美	磯野 和子
吉井 建之	水本 久子	野澤 量一郎	高村 國男	近藤 博和	小野 哲也	板倉 敬子
吉川 稲美	矢田 勝子	野中 理伊子	田川 精一	齋藤 栄一	香川 保子	伊藤 都
吉沢 伊津子	柳原 進	野村 幸子	立木 梢	齋藤 佳名美	梶原 美樹子	伊藤 力雄
吉澤 健治	柳瀬 正人	橋口 一馬	滝島 房枝	相良 映子	片瓜 かな江	伊奈 貞子
吉田 素子	山口 規尹子	橋本 貞子	武城 淑子	佐藤 恵子	門野 達夫	乾 洋一
頼 香苗	山口 佳子	長谷川 照子	武田 洋子	佐藤 延之	金川 尤光子	井上 貴要子
力武 清子	山崎 幸一	畠山 向子	武富 慈海	佐藤 康子	金子 勝一	岩田 敏
ロバートディーターズ	山崎 登美子	服部 悦子	立石 豊子	塩川 秀平	金原 朝子	岩本 典子
若月 澄雄	山下 ユミコ	花園 虎之助	白石 由美子	柴田 隆一	川島 知水	打越 みち
渡真利 游吉	山田 淳子	馬場 咲夫	田中 菊子	島津 伊津子	河相 洵	内山 小太郎
本城 保子	三井 春夫	濱口 勝子	タムラヨウコ	清水 洗	川地 つゆ子	大久保 康子
	箕作 万里子	濱田 邦夫	塚本 秀子	白根 有子	菊地 千代	大藏 万智子

平成十八年度寄付者一覧(団体) 順不同 敬称略

つくし野天使幼稚園	聖心侍女修道会上野修道院	国際ソロプチミスト 東京-弥生	アメリカンクラブ
天使の聖母トラピスチヌ修道院	シャルトル聖パウロ修道女会	御受難会修道院 みことばの家	イエズス会修道院
東京カルメル会女子修道院	聖心女子学院みこころ会	小平サレジオ修道院	潔き聖母修道院
東京厚生信用組合	聖心女子学院中高もゆる会	サレジオン・シスターズ管区本部	伊万里カトリック教会
東京福祉会	聖心女子専門学校 MAMS委員会	サレジオンシスターズ 目黒修道院	ウイチタ聖ヨゼフ修道会白梅町修道院
灯台の聖母トラピスト修道院	聖心女子専門学校 三光会	サレジオンシスターズ 横浜修道院	浦和YWCA
ドミニコ会神の母マリア修道院	小林聖心女子学院	柴山鉱油	エアコンサービス
ナザレト幼稚園	清心中学校・清心女子高等学校	柴山修道院	SBI子ども希望財団
那須の聖母修道院	聖ドミニコ宣教師修道女会園部修道院	あけの星会	援助修道会市谷修道院
日本郵船	聖ドミニコ宣教師修道女会聖マルチン修道院	聖ヨゼフ老人ホーム	援助修道会修練院
ヌヴェール愛徳修道会目黒共同体	聖ベネディクト女子修道院	常盤会	援助マリア修道会
パリーミッション女子会	聖母被昇天修道会	日本鳩レース協会	大阪聖ヨゼフ会本部
ベタニア修道女会本部修道院	聖母学院中等学校・生徒会執行部	シャルトル聖パウロ会 山の手修道院	幼きイエス会ガリラヤ修道院
マリアの宣教師フランシスコ修道会	聖母大学	シャルトル聖パウロ修道女会 強羅修道院	片瀬修道院
盛岡ドミニカン修道院	聖母奉獻修道会本部	幼きイエズス修道会	カトリックコングレガシオンノートルダム修道会
八事聖雲修道院	聖マリア小学校	シトー会那須の聖母修道院	カトリック鷺沼教会
山口カルメル会女子修道院	聖ヨゼフ修道院	聖母訪問会	カトリック高輪教会
雪の聖母修道院	世界平和文化協会	湘南白百合学園小学校	からしだね
ルルド修道院	世界平和文化交流会	湘南白百合学園タプリエ会	カルメル会修道院
レストナック幼稚園	双葉会館	湘南白百合学園中高	川内純心女子高等学校生徒会
レザンブール宣教師修道女会	雙葉小学校	昭和女子大学	曉星小学校 シャミナード会
レザンブールリスチン修道院	雙葉小学校付属幼稚園	スピノラ修道女会	汚れなきマリア修道会
和歌山信愛修道院	雙葉中学校高等学校	スピノラ修道女会 和泉修道院	汚れなきマリアのクラレチアン宣教師修道女会
藤聖母園	伊達カルメル会修道院	聖クララ会修道院	賢明学院小学校
双百合幼稚園	小さき花の園幼稚園	聖書を読む会	神戸海星女子学院 小・中・高等学校
I. L. B. S.		聖心会 第一修道院	高齢者介護総合センター聖母の園
		聖心会本部	国際ソロプチミスト 東京-青山

貸借対照表

資産の部		負債の部	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
流動資産	136,944,610	流動負債	11,812,928
固定資産	828,864,057	固定負債	136,400,000
基本財産	683,322,215	負債の部合計	148,212,928
その他の固定資産	145,541,842	純資産の部	
		基本金	425,345,569
		国庫補助金等特別積立金	190,315,389
		その他の積立金	116,545,805
		次期繰越活動収支差額	85,388,976
		次期繰越活動収支差額	85,388,976
		純資産の部合計	817,595,739
資産の部合計	965,808,667	負債及び純資産の部合計	965,808,667

編集後記

今年度より「センター通信」の編集を担当者することになりました野館です。どうぞよろしくお願いたしました。青少年福祉センターは来年で五十周年を迎えます。今年度より、法人内の施設は六施設となり、人事にも変更があり、新体制でスタートしました。センターの歴史は、後援者の皆様に支えられて成り立っているものと感じております。いつも温かいご支援ありがとうございます。

平成十八年度決算報告書